

第3回 唐津港の中長期ビジョンに関する検討会 議事概要

日時：令和5年3月16日(木)10:00~12:00

場所：唐津市民交流プラザ第1・2会議室

【主な意見】

1)大型船舶に対応した岸壁等の整備について

- 妙見ふ頭に候補案として示されているように、ふ頭用地が拡張され、岸壁が整備されたら有難い。
- バイオマス発電所の操業にあたっては、燃料の供給を止めるわけにはいかない。新たな岸壁の整備をお願いしたい。

2)港の賑わいづくりについて

- 現在、フェリーを使った壱岐への移動は増えているが、唐津港はその通過点になっている。商業施設の建設やイベント等を開催することで活気生まれるのではないか。
- 他港では国際クルーズが再開されているところ。今後、唐津港でも再開に向けて船社と協議を進めていく。

3)唐津港のカーボンニュートラルポート(CNP)の形成について

- CNPの形成は九州電力発電所跡地に限定せず、唐津港全体で検討していくことが必要。その中で、洋上風力発電のO&M拠点形成、次世代エネルギーの受入の実現を目指して頂きたい。
- CNPの形成に向けた取組として、水産ふ頭の建屋の屋根にソーラーパネルを設置することも考えられる。

4)中長期ビジョンについて

- 今回のビジョンは、今と未来をつなぐ梯子であると考えている。ビジョンを実現していくためには、行政、市民で連携していくことが重要。
- ビジョンをどうやって実現していくのか、絵に描いた餅にならないように、引き続き検討して頂きたい。

(以上)